

良識ある保守主義・情報公開

# 吉田つとむ

町田市議会議員 (4期連続トップ当選)

〒194-0011 町田市  
成瀬が丘 1-14-12  
サンホワイト E103-13  
☎ 042-795-7361 (FAX: 必  
要に応じて186を頭に加える)  
議会 042-724-2171  
yoshidaben@gmail.com



## 一般質問: 町田市の窓口における市民対応

一般質問で「町田市の窓口における市民対応」を尋ねました。市民が市役所を訪れるのは、届け出の手続きや相談に来て、その求めに十分に対応せずに、「用紙」を読むようにただ指示するだけになるような場合があるのではないかと尋ねました。窓口では、市民に丁寧に対応するようなマニュアルがあるとのことで、「用紙」を読むようにただ指示する状況はレアケースと解される趣旨の答弁に終始しました。現実には、行政手続き文書作成が煩雑で、役所をめぐって訪れない一般の人にとっては、どこから手を付けてよいかわからないというものです。

町田市は、窓口職員は行政手続きに精通しているとして、職員と市民の間のやり取りに言葉上のトラブルが生じて、管理職がかかわらないやり方になっていました。町田市の行政手続きは人によって変わるものではないとして、移動してきたばかりの担当職員にも義務付けられ、それに苦慮する事態が起きても、放置される状態になるものでした。これでは真摯な行政対応とは思えません。市民に親切な対応をするという姿勢に今一度立ち返ってほしいと思います。



町田市庁舎の屋上に上がり、周囲を展望

## 請願: 難聴検診&補聴器補助で賛成討論



請願の審査では、本人の意見を聴き、内容を確認し、その後、行政担当者が反論的な説明を行い、私は請願に以下の趣旨で賛成討論しました。委員会で請願は賛成多数を得ました。

**1.** 市の健康診断職員検査を見ていると聴力検査を実施しているが、同様に、国保の健康増進の施策として、成人検診の改善(同様な聴力検査を加えること)が必要と訴えました。その検査は個人的にソフトで調べるのではなく、(健康診断という場)で他人が器具を使う方法で聴力の検査ができ、難聴の発生の確かな発見につながるものである。**2.** なお、町田市は加齢性難聴者と認知症発症との関係でエビデンスが形成されていないとしているが、請願では、認知症予防の一つの効果的な要因としか挙げておらず、加齢性難聴の予防、発見を重視し、その難聴者の日常生活改善を大きな要素に挙げている。難聴の早期対応のための補聴器補助のことは、国に先行する施策をいくつもの自治体で実施しているが、その方法で国の政策判断が変更される例がいくつも起きている。町田市も補聴器補助を導入し、高齢者の就労アップ・健康維持・日常活動アップが、国保、介護保険運営のためにも必要である。

○支持政党なしの方々の代表=吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。

○吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。

◎町田市内企業が開発した「水耕栽培メロンの世界一決定戦」を開催しよう!

●吉田つとむは令和4年2月実施の市議会議員選挙で、4期連続のトップ当選を果たしました

若い世代の育成に全力をささげる  
町田市議会議員(4期連続トップ当選)

# 吉田つとむ



ブログ 個人HP



メールは  
左記を添  
して送信



好評インターンシップは、  
第53期生を受け入れ準備中

## 町田市議会は政治資金パーティーを禁止

町田市議会は要綱で平成元年12月1日より

自民党では安部派を中心に大きなパーティーを開催し、その売り上げに応じて所属議員に還付していたこと、さらにその収入も支出も記載せず、いわゆる裏金としかってきたことが問題になりました。1000万円までは収支報告書を訂正すれば役職を辞任すればそれで済むというやり方で許されるかということも問題になってきました。それ以上の4000万円、5000万円という金額では、捜査機関の調査が進行して立件される事態が進行しています。(12月中旬記述)

他方で、ここで、町田市議会のルールを紹介します。町田市議会議員の政治活動における虚礼廃止に関する要綱(平成元年12月1日)では、その項目2において、「資金集めを目的としたパーティー・事業等を行わない。」と定めており、そもそも、パーティーによる政治資金集めを容認しておらず、このルールは、公職選挙法の規定にかかわらずともしていますので、政治資金規正法をも含めて他に一般のパーティーを許しても、町田市議会と町田市議会議員は、パーティーで金集めを認めないとしてきました。これが、その制定年度からしても先輩議員の時代に決められたもので今に至るも引き継がれてきているものです。先見の明があったと評価されるべきものでしょう。(写-真:実例参考掲載)



実費会費5千円で開催。約250人参加の議長  
就任活動報告会:収支報告書に全額記載。

## 大学祭:玉川大・理科大はトップ級の出来

例年、大学祭の見学を行い、優劣得点評価する

今年も大学祭を10校ほど見学しました。大規模でもお祭りに終始している大学もあれば、ゼミに発表の場を設定しているものもあります。屋台を出してサークルの資金稼ぎの場となっている大規模学祭も見かけるし、出会いの場となっている大規模大学の大学祭もあります。



昨年、今年の見学で評価すると、前号までに記載したとおり、一番の評価は東工大です。規模も大きく、出し物や企画、発表の数々が充実しており、研究室の公開も来訪者を楽しませてくれます。また、中高生はもちろん、小学生が来ても楽しく勉強できる場もあります。そうした意味では、それに準じるのは、地元の玉川大学と東京理科大学が東工大に続く充実ぶりです。学生参加、教授陣もかかわる全学の連携が整っています。玉川大学は芸能人を呼んで人集めをすることより、芸術学部生の発表も含めて全学が一体になっている点が優れています。理科大は研究室ツアーなど、大学の公開度が高く、広範な学校の中高生にも人気がありました。

それらに比べると、東大、慶応、法政、青山などは単にお祭りの傾向が強く、出店の賑わいの繁盛店の様相で、後者では出会いの場の感も漂っています。

◎吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、2023年9月末までに105名が参加しました。

◎インターン生に政治活動の参加は一切求めず、あくまで社会勉強・見学のメニューです。